




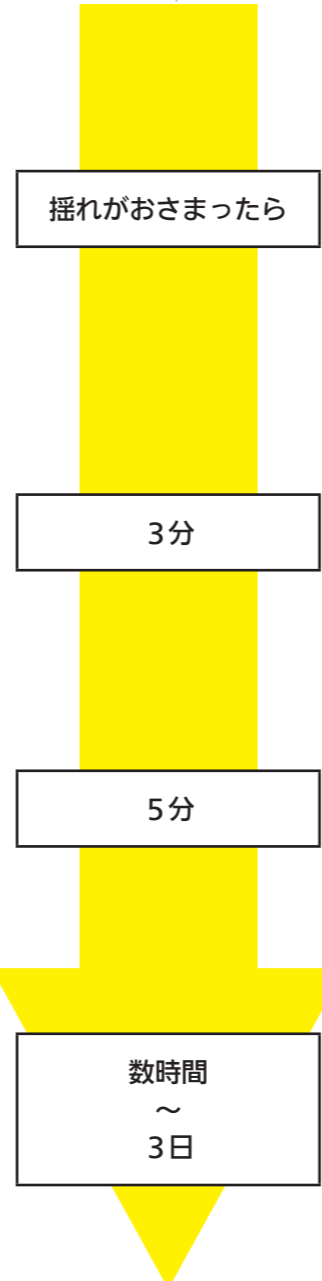
災害の備えは充分ですか？

地震避難所	非常持ち出し品																																
<p>地震災害のときに開所予定の避難所は全部で16か所です。 避難所開所情報に注意し、避難先を家族で共有しましょう。</p> <p>●地震避難所一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> 五霞町川妻浄水場 五霞町中央公民館 茨城むつみ農協五霞支店 五霞中学校 五霞西小学校 五霞町B&G海洋センター 西南広域消防五霞分署 五霞町保健センター 五霞東小学校 大王パッケージ株式会社 五霞町環境浄化センター 五霞ふれあいセンター ごか西児童館 ごか南児童館 原宿台コミュニティセンター 道の駅「ごか」 <p>連絡が取れなくても避難所で集合できるように家族で話しておこう！</p>   <p>避難所一覧</p>	<p>いざ避難という時になって、あわてて荷物をまとめようとしても、なかなか適切な判断はしにくいものです。日頃から非常時に備え、持ち出し品を用意しておきましょう。</p> <p>●非常持ち出し品の例</p> <table border="1"> <tr> <td>飲料水・水筒</td> <td>1人1日3リットルが目安。2～3日は自力で生活することを考えましょう。</td> </tr> <tr> <td>食料品</td> <td>缶詰・ビスケット・チョコレート・インスタントラーメンなど(赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・ほ乳びんなども)。</td> </tr> <tr> <td>医薬品</td> <td>消毒薬、傷薬、胃腸薬、脱脂綿、ばんそうこう、包帯など。</td> </tr> <tr> <td>貴重品</td> <td>現金、預金通帳、印鑑など。電話用に10円玉も用意しましょう。</td> </tr> <tr> <td>ヘルメット等</td> <td>落下物から頭を保護するものをすぐに取り出せる所に用意しましょう。</td> </tr> <tr> <td>手袋</td> <td>ガレキの撤去や救助に、軍手など厚手のものを用意しましょう。</td> </tr> <tr> <td>マッチ・ライター</td> <td>湿気やガス切れに注意。防水マッチなども市販されています。</td> </tr> <tr> <td>ろうそく</td> <td>濡れないようにビニール袋に入れて保管しましょう。</td> </tr> <tr> <td>懐中電灯</td> <td>夜間、すぐ手が届くところにも置いておきましょう。</td> </tr> <tr> <td>ラジオ</td> <td>懐中電灯と一体型など便利なものもあります。</td> </tr> <tr> <td>乾電池予備</td> <td>ラジオや懐中電灯に使用します。多めに準備しましょう。</td> </tr> <tr> <td>衣類</td> <td>セーター・ジャンパー・下着など。雨具やタオルも用意しましょう。</td> </tr> <tr> <td>毛布</td> <td>寝袋や体温を逃さないサバイバルシートなども重宝します。</td> </tr> <tr> <td>ナイフ・缶切り</td> <td>十徳ナイフなどの多機能ナイフが便利です。</td> </tr> <tr> <td>携帯バッテリー</td> <td>スマートフォン充電用のものです。</td> </tr> <tr> <td>常服薬</td> <td>いつも飲んでる薬を忘れないようにしましょう。</td> </tr> </table>	飲料水・水筒	1人1日3リットルが目安。2～3日は自力で生活することを考えましょう。	食料品	缶詰・ビスケット・チョコレート・インスタントラーメンなど(赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・ほ乳びんなども)。	医薬品	消毒薬、傷薬、胃腸薬、脱脂綿、ばんそうこう、包帯など。	貴重品	現金、預金通帳、印鑑など。電話用に10円玉も用意しましょう。	ヘルメット等	落下物から頭を保護するものをすぐに取り出せる所に用意しましょう。	手袋	ガレキの撤去や救助に、軍手など厚手のものを用意しましょう。	マッチ・ライター	湿気やガス切れに注意。防水マッチなども市販されています。	ろうそく	濡れないようにビニール袋に入れて保管しましょう。	懐中電灯	夜間、すぐ手が届くところにも置いておきましょう。	ラジオ	懐中電灯と一体型など便利なものもあります。	乾電池予備	ラジオや懐中電灯に使用します。多めに準備しましょう。	衣類	セーター・ジャンパー・下着など。雨具やタオルも用意しましょう。	毛布	寝袋や体温を逃さないサバイバルシートなども重宝します。	ナイフ・缶切り	十徳ナイフなどの多機能ナイフが便利です。	携帯バッテリー	スマートフォン充電用のものです。	常服薬	いつも飲んでる薬を忘れないようにしましょう。
飲料水・水筒	1人1日3リットルが目安。2～3日は自力で生活することを考えましょう。																																
食料品	缶詰・ビスケット・チョコレート・インスタントラーメンなど(赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・ほ乳びんなども)。																																
医薬品	消毒薬、傷薬、胃腸薬、脱脂綿、ばんそうこう、包帯など。																																
貴重品	現金、預金通帳、印鑑など。電話用に10円玉も用意しましょう。																																
ヘルメット等	落下物から頭を保護するものをすぐに取り出せる所に用意しましょう。																																
手袋	ガレキの撤去や救助に、軍手など厚手のものを用意しましょう。																																
マッチ・ライター	湿気やガス切れに注意。防水マッチなども市販されています。																																
ろうそく	濡れないようにビニール袋に入れて保管しましょう。																																
懐中電灯	夜間、すぐ手が届くところにも置いておきましょう。																																
ラジオ	懐中電灯と一体型など便利なものもあります。																																
乾電池予備	ラジオや懐中電灯に使用します。多めに準備しましょう。																																
衣類	セーター・ジャンパー・下着など。雨具やタオルも用意しましょう。																																
毛布	寝袋や体温を逃さないサバイバルシートなども重宝します。																																
ナイフ・缶切り	十徳ナイフなどの多機能ナイフが便利です。																																
携帯バッテリー	スマートフォン充電用のものです。																																
常服薬	いつも飲んでる薬を忘れないようにしましょう。																																
避難するときの注意事項	備蓄品																																
<ul style="list-style-type: none"> ●ブロック塀、門柱、自動販売機などは倒れやすいので注意しましょう。 ●壊れた家には入らないようにしましょう。 ●広い場所か丈夫な建物へ避難しましょう。 	<p>ローリングストック法で備えましょう！</p> <p>普段の食材を多めにストックして、古いものから順に使っていき、消費したら補充するという方法です。</p> 																																

〇お問い合わせ 生活安全課 くらし安心G ☎(84)3618(直通)


地震だ!! その時あなたは… ～大地震発生後の行動を確認しましょう～

いつ、どこで大きな地震が発生するのかわかりません。首都直下型地震や、南海トラフ地震など大地震の発生による大規模な被害が想定され、本町では茨城県南部地震や茨城県沖から房総半島沖にかけての地震において最大震度6弱が想定されています。非常時の備えや震災直後の行動を見直しましょう。




その時！


- 自分の身を守りましょう。
最初の揺れは約1分！ 落下物から身を守りましょう。



- 火元を確認しましょう。
消火のタイミングは3度！
①小さな揺れを感じたとき
②大きな揺れがおさまったとき
③出火したとき
- 家族の安否を確認しましょう。
声を掛け合いお互いの状況を確認しましょう。



- 漏電、ガス漏れに注意しましょう。
ブレーカー、ガスの元栓を切りましょう。
- 風呂の水をため置きをしましょう。
- 災害情報や避難情報を入手しましょう。



五霞町メールマガジン 茨城県防災ポータルサイト

- 余震に注意し、避難口から外へ出ましょう。
割れたガラスの破片や落下物に気をつけましょう。
- 隣近所に声をかけましょう。
隣近所で助け合い、けが人等がいる場合は救護等を施しましょう。

- 災害情報や被害情報を収集しましょう。
- 3日間は、備蓄しておいた食料と水でまかないましょう。
- 避難指示が出た場合は、非常持ち出し品を持って避難しましょう。

